



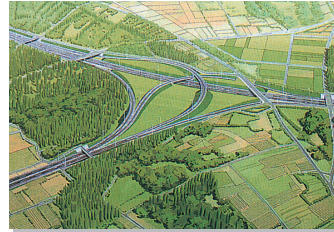
進んでいます！いばらきの基盤整備 ～高速道路をもっと便利に快適に～



開通に向けて工事が進む北関東自動車道 友部IC～(仮)笠間IC



北関東自動車道は常陸那珂港と直結しています



東関東自動車道水戸線 (仮)茨城町JCTイメージ図



首都圏中央連絡自動車道の建設も順調です

茨城県の高速道路が、便利に快適に変わろうとしています。現在、三本の高速道路が建設中です。工事の進み具合や、さらに便利になるための取り組みなどをレポートします。



特派員:小野 洋子

早期開通が待ち遠しい
三本の高速道路



茨城県を縦断する常磐自動車道を軸として、新たな三本の高速道路の建設が着々と進められています。

北関東自動車道は、群馬・栃木・茨城の主要都市と常陸那珂港を結ぶ延長約百五十キロメートルの高速道路です。今年中には、友部IC～(仮)笠間IC間、平成二十年度には、その先の(仮)岩瀬ICまで開通する予定です。(仮)岩瀬ICでは、現在整備中の筑西幹線道路と接続します。

北関東自動車道が全線開通すれば、東北・関東・常磐自動車道が横断的につながり水戸～宇都宮間は約一時間、水戸～前橋間は二時間弱で結ばれ、北関東の主要都市と常陸那珂港をつなぐ重要な流通の根幹として期待されています。

東関東自動車道水戸線は、平成二十一年度開港予定の茨城空港の整備に合わせて、北関東自動車道と接続する(仮)茨城町JCTと(仮)茨城町南ICの建設が進められています。

この高速道路は、県内の重要港湾である鹿島港、常陸那珂港や成田空港、茨城空港などの交流拠点を結び、茨城県の産業発展を支える道路として、あるいは、災害時に常磐自動車道の代替路線としての機能も果たしていくこととなります。

首都圏中央連絡自動車道は、横浜・

応援しよう!
ねんりんピック茨城2007

ねんりんピックとは
60才以上の方々を中心とするスポーツ、文化、健康と福祉の全国的な祭典
茨城県で11月10日(土)から13日(火)までの4日間開催



「ソフトテニス」

ねんりんピックのソフトテニスは、男子ペア、女子ペア、男女ミックスの3種目があり、7ゲーム中、4ゲームを先取した方が勝ちです。競技会場となるつくば市の荃崎運動公園で、「荃崎クラブ」の皆さん取材しました。「手だけでなく、体全体を使って打つ」というアドバイスを受けて、私もチャレンジ。皆さん軽やかな動きですが、柔らかいボールを返すにはかなりの力がいりました。



お互いの力がかみ合った時の充実感が、ソフトテニスの魅力だそうです。クラブ代表の長嶺さんは「ねんりんピックを通して、他県の方と親しくを深め、茨城やつくばのファンになってもらいたい」と話していました。(女性特派員 笹本悦子)



ねんりんピック茨城2007 ソフトテニス
11/11(日)~12(月)
洞峰公園・荃崎運動公園・レイクサイドくさぎさ
ねんりんピック茨城2007実行委員会事務局
☎ 029(301)3338

厚木・八王子・川越・つくば・成田・木更津といった首都圏の中核都市を結ぶ延長約三百キロメートルの環状道路です。つくばと成田が結ばれれば、従来の半分、約四十分で移動が可能となります。また、都心部を通らずに、中央自動車道や東名高速道路に移動できるようにするので、都心部の渋滞緩和にもつながります。今回の取材で、日ごろ、何気なく利用していた高速道路も、さまざまな目的を達成するために作られているということが分かりました。それぞれの道には、それぞれの役割があります。私たちの日々の暮らしが、より便利に快適に過ごせるようにと願いを込めて作られている高速道路。皆さんのいろいろな思いがかなうように、早期の完成を願いたいと思います。

間もなく開通 北関東自動車道
友部IC(仮)笠間IC

今年中の開通を目指して工事が進む、北関東自動車道の友部IC(仮)笠間IC間の建設現場を見学しました。全長約九キロメートルのこの区間は、順調に工事が進んでおり、高速道路としての形がはっきりと見えていました。

現場に入り最初に目に留まったのは、唐桶山トンネルでした。このトンネルは友部IC(仮)笠間ICの工事区間でも、大変苦勞をされた現場だそうです。山を切り開き、トンネルを掘って出た土は、無駄にすることなく道路を作るのに再利用されています。

建設現場を案内してくださった東日本高速道路(株)水戸工事事務所水村副所長は、「高速道路という大

掛かりなものを作っていますが、作業は緻密で、道路の高低差を正確に測り、丁寧に仕事を進めています」と話していました。

このように高速道路は、着実に建設されていくのだということが、現場を見学して分かりました。それまでも存在感のある道路ができていくことにも驚きました。一日でも早く開通できる

ように、たくさんの人の役に立つように、今日も現場では工事が進められています。



開通に向け、着実に工事が進められています

さらに便利にさらに快適に

ETC車限定のインターチェンジ、スマートICの導入が進められています。現在、常磐自動車道では水戸ICと那珂ICのほぼ中間地点で「水戸北スマートIC社会実験」を行っています。これは、全国で初の高速道路本線直結型のスマートIC社会実験で、常磐自動車道と国道123号を直接接続しています。水戸北ス

スマートICの設置により、常磐自動車道へのアクセスが不便であった水戸市北部や、国道123号およびその周辺からのアクセスが容易になりました。一日当たりの利用台数も、千三百台を突破しています。

ETC専用であり、東京方面乗り降り限定という条件はありますが、高速道路の有効活用にもつながる画期的な試みです。すでに正式導入となっている友部S AスマートICと同様、早期の恒久化を期待したいと思います。



スマートICの設置により、常磐自動車道のアクセスが容易になりました

国土交通省
関東地方建設局
関東道路建設課 高速道路対策室
☎ 029(301)4439
FAX 4449